※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3006

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	（学）公民演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	プリント教材						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学・高校で学んだ「政治的分野」「経済的分野」の学習を行うとともに、就職などの際に活用できるよう、一般教養問題に取組みます。新聞などを活用して時事的問題を取り上げ、現代社会の諸課題に対して主体的に考察できるよう努めることで、社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に行動できる態度を養います。

2　学習の到達目標

・社会のあり方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて、探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会のあり方に関わる情報を適切に整理する技能を身につける。
・国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会にみられる諸課題について説明できる。また、身につけた判断基準のもとに構想する力や、構想した内容を議論することで、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
・よりよい社会実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、平和で民主的な国際社会の繁栄と、そこで生きる公民として資質・能力を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・現代の政治・経済に関する諸課題の解決に向けて、探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解できる。 ・現代の政治・経済に関する諸資料から、課題解決に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身につける。	・国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理念などを活用して、現実社会にみられる諸課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想する力や、その構想したことを表現できる。	・国民主権を担う公民として、現代社会の諸課題に対する課題意識を持ち、その解決に必要な知識を主体的に深め、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を行いながら、現代社会における自己の役割を積極的に追究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	現代の政治	・民主政治と法 ・世界の主な政治体制 (日本・イギリス・アメリカ・中国・ロシア・サウジアラビア・イラン) ・政治に関する新聞用語・内容の学習 ・政治分野の一般教養問題	a:政治と国家、政府が何であるかを確認し、世界各国の政治制度を参考に民主政治のしくみと課題について理解している。また、現代の政治に関するニュースの内容について理解している。 b:各国の政治制度の共通点・相違点について比較し、民主政治の諸原理がどのように反映されているのかを考察・表現している。 c:国民主権を担う公民としての自覚をもとに、現実の政治制度に関する課題について主体的に理解・追究しようとしている。	・授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ・定期考査 ・振り返りシート	・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 ・定期考査 ・振り返りシート	・学習活動への参加 ・振り返りシート ・調べ学習
後期	現代の経済	・経済活動の意義 ・経済社会の変容 ・現代の国際経済 ・経済に関する新聞用語・内容の学習 ・経済分野の一般教養問題	a:生産・分配・消費などの経済の基本的な概念について理解したうえで、資本主義と社会主義がどのように変容しているのかを理解する。また、現代の経済に関するニュースの内容について理解している。 b:資本主義経済と社会主義経済の特徴について追究する中で、現代の国際経済の諸課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、経済的な効率性と公平性の関係について学習したことを社会生活に生かそうとしている。	・授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ・定期考査 ・振り返りシート	・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 ・定期考査 ・振り返りシート	・学習活動への参加 ・振り返りシート ・調べ学習

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度